公益財団法人
日本体育協会
JAPAN SPORTS ASSOCIATION (JASA)

第95号　平成25年9月20日発行

日本体育協会

総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン

このメールマガジンは、スポーツ振興くじ（toto）助成金を受けて配信しています。
スポーツ振興くじ（toto）助成金についてはこちらから
（日本スポーツ振興センター HP）　http://www.jpnsport.go.jp/

このメールは本会 HP より登録された方々へ配信させていただいております。
配信停止設定は、メール後方のご案内をご確認ください。
現在の登録件数：4,892 件

スポーツ振興くじ助成事業

INDEX

〈特別企画〉[第2回]

- 「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」内容紹介

〈特集〉地域の町おこしに貢献しているクラブ

- 佐野中央スポーツクラブ（栃木県佐野市）
- クラブ香美ING（高知県香美市）
- 波佐見ルピナス倶楽部（長崎県波佐見町）

〈連載〉東日本大震災被災地 応援情報

- JOTOクラブの取り組み

助成金情報

- 申込締切：11月30日まで

お知らせ

- 総合型地域スポーツクラブ「キャッチコピー」本日締切！
- 労力半分、効果は2倍！「クラブのらくらく広報」をご活用ください！
- 「スポーツ指導者のための倫理ガイドライン」を策定しました！
- スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議（タスクフォース）報告書について
- 目指せ！100万人のフェアプレイ宣言！あくしゅ、あいさつ、ありがとう「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンにご協力をお願いします！
- ＜開催都市決定御礼！＞2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致活動へのご協力ありがとうございました！

あくしゅ、あいさつ、ありがとう
「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーン
http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/fair/

〈特別企画〉[第2回]

「総合型地域スポーツクラブ育成プラン 2013」内容紹介

日本体育協会では、今後概ね5年を目途とする総合型地域スポーツクラブ育成の取り組みについて、「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013（育成プラン2013）」として取りまとめ、本年7月に公表しました。
このことに関連して「育成プラン2013」を紹介する連載を開始しました。
今回は連載第2回目として「総合型地域スポーツクラブ育成の現状と課題」とともに、また「育成プラン2013」のコンセプトとなる「今後の総合型地域スポーツクラブ育成の基本的な考え方」についてご紹介します。
http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H25/9.ikusei_plan_Vol.2.pdf

「育成プラン2013」の内容については、本会HP上に公開中ですので、ぜひご覧ください。

▶「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」（全文）
http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/doc/club_ikusei_plan2013.pdf

▶「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2013」について（本会HP）
http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/394/Default.aspx

特　集

地域の町おこしに貢献しているクラブ

佐野中央スポーツクラブ
～地域のスポーツ行事を活性化!～

キーポイント

○活動停滞しかけたスポーツ行事をクラブが活性化
○これまでスポーツに関わることが少なかった地域住民を巻き込む
○地域の主要な行事に携わることでクラブの認知度向上

1　クラブがスポーツ行事運営に携わる!

「佐野中央スポーツクラブ（以下、クラブ）」(栃木県佐野市)が設立されたきっかけは、これまで町のスポーツ活動を支えていた町体育部(地区体育協会)が活動停滞したことに始まります。クラブが所在する出流原町では、これまで町体育部が運営中心となり開催されていた「春の運動会」「秋の球技大会」「冬の駅伝大会」という3大スポーツ行事がありましたが、平成17年頃から、人材不足によりそれら行事の存続が危ぶまれてきました。その際に、県体育指導委員協議会(現スポーツ推進委員協議会)の副会長が、町に総合型クラブを創ることでこの状況を打開しようと動き出し、平成19年にクラブを設立しました。

開催の危ぶまれた3大スポーツ行事の運営を立て直すべく、クラブはまずスポーツ行事を主催する行政と行事運営に町体育部と同様に深く携わっていた町内会への交渉を行いました。クラブは町内会の会議において、総合型クラブに関する説明会を開催し、総合型クラブが地域づくりに貢献していく組織であるということを熱心に訴えました。当初は「総合型クラブ」という仕組み自体を理解してもらうのが大変だったそうです。やがて、町内会の理解もいただきクラブがスポーツ行事に関わることができるようになりました。

2　工夫した点は「一堂に会する場を効果的に活用する」こと!

出流原町は人口1,080名の規模の小さな町であるため、地域の方々は地域の色々な団体の役職を兼務していることが多いです。そこでクラブでは、町内会の会議終了と同時にクラブの運営委員会を開催することとしました。町内会は地域の各種団体からの参加者がいるので、効果的にその場を活用することができます。その際、町の区長や体育部長の代表の方にも委員となってもらっています。

3　より多くの地域住民がスポーツ行事に携わる

スポーツ行事の運営主体が町体育部からクラブに移ったことで得られた最も大きな成果は、より多くの地域住民におけるスポーツに関わるきっかけ作りができたことです。

現在、クラブでは3大スポーツ行事運営のほか、出流原小学校体育館及びグラウンド等を利用して、ヨガ教室、バドミントン教室、ソフトボール教室を実施しています。これまでスポーツにあまり関わりのなかった方々も対象としているため、教室に参加することで、やがてスポーツ行事の運営にも自然と参画してもらえるようになり、これまで以上にスポーツ行事が活性化するようになりました。

クラブにとっては、地域の主要な行事であるスポーツ行事にクラブが関わることで、クラブが町に存在する価値を高められ

ているようです。またクラブの広報紙を年3回、全戸配布していることもあり、現在では住民の多くがクラブのことを知っているそうです。クラブマネジャーの神山氏によると「この地域にクラブがなかったら、町内のつながりが希薄になり、地域コミュニティがなくなって、地域がバラバラになっていただろう」ということでした。

4 今後の展望

町おこしは誰かに頼るのではなく、そこに住んでいる住民が「自分たちの住んでいる地域は自分たちで何とかしないといけない」という気持ちを持つことが大事です。

今後のクラブとしては、町の公民館が将来的に新しくなる際には、その一角に楽しく体を動かして集えるような場所、そこに行けばいつも誰かがいて世間話ができるような場所を作りたいと、神山氏はおっしゃっていました。

（栃木県クラブアドバイザー　宮本栄子）

クラブプロフィール

設立年月日：平成19年3月3日

地　　域：栃木県佐野市出流原町

運　　営：会員数 1,080名（平成25年8月現在）予算規模 約150万円(平成25年度)

特　　徴：出流原町に住んでいる人が全員会員である。出流原町自体が総合型地域スポーツクラブになっている

連 絡 先：〒327-0102　栃木県佐野市出流原町1327−1
神山（かみやま）　久夫（ひさお）
TEL：0283-25-0743／FAX：0283-25-0944
E-Mail：kamiyamahisao@sctv.jp

特　集

地域の町おこしに貢献しているクラブ

クラブ香美 ING
～地域と協働し伝統行事を復活～

キーポイント

○地域住民や大学生と協働して、地域の伝統行事を復活
○地域の活気や人と人とのつながりをつくる
○地域の主体性を活かし、様々な組織と協働することが大切

1　クラブ概要

「クラブ香美ING(以下、クラブ)」(高知県香美市)は、市民の有志が集い、「市民の健康づくり、人づくり、まちづくりを目指す」ことを目的に、平成23年2月に設立しました。現在は、香美市内の小学校体育館、地域の公民館などで14教室を展開しています。

香美市土佐山田町平山地区は、少子高齢化と過疎化が進む典型的な中山間地域ですが、地域活性化に向けて、熱心にまちづくりに取組んでいます。クラブは、平山地区にある地域交流施設「ほっと平山」内に事務所を置いています。

2　地域住民や大学生と協働して地域の伝統行事を復活!

クラブでは、地域住民と高知県立大学地域文化論ゼミの大学生と協働して、平成24年11月に地区運動会、平成25年8月に夏祭りを復活させるまちづくりイベントに協力しました。開催のきっかけは平山地区住民の要望です。平山地区では、地域の交流拠点になっていた旧平山小学校が平成17年に閉校となったことに伴い、地区運動会と夏祭りも行われなくなり、地域住民の交流の機会が減りました。そこで、ゼミ合宿が「ほっと平山」で行われたことから交流が始まった高知県立大学地域文化論ゼミの学生とともに、地域の伝統文化である地区運動会、夏祭りを復活開催することとなりました。

運営や経費について

(1)地区運動会		(2)夏祭り	
運　営	主として大学生が企画し、クラブはサポート役 クラブマネジャーが会場設営や当日運営を支援 クラブ会員が準備体操の指導を協力 大学生 20 名、クラブ 5 名	運　営	企画からクラブマネジャーが参画 当日はゲーム (1 ブース) の出店を行う 大学生 18 名、クラブ 8 名
経　費	香美市のまちづくりに係る助成金を活用 (20 万円)	経　費	学生の交通費等に高知県の助成金を活用 (5 万円)

経費面では、地区内外からも寄付を募りました。

3　地域が活気を取り戻す!

地域の伝統行事である運動会、夏祭りを復活したことで、地区内外から多くの人が訪れ平山地区に活気が生まれました。運動会では、参加者がスポーツを「する」「みる」、スタッフが運動会を笑顔で「支える」ことを通じて楽しみました。運動会後、地域のあるお年寄りには「いつも見ん人を久しぶりに見た!」と言われるなど、地域でも大きな反響がありました。

夏祭りでは、会場内の各所に、語らいの輪ができていました。夏祭りの最後は、打ち上げ花火を行いました。約10分間と短いものでしたが、1発1発に地域の人々の想いが彩られ、平山の夜空を輝かせました。感激のあまり、地域住民や大学生は涙

を流し、歓声を上げて喜んでいました。これが地域の運動会や夏祭りの社会的な役割だと思います。

地域住民が楽しみながら、普段はなかなか会えない方々とお互いの近況を確認し合う場である運動会や夏祭りは、地域の伝統文化です。こういった失われつつある地域の伝統文化を復活させることは、必ずまちづくりにつながっていきます。

クラブでは、伝統文化の継承という観点から、平山地区の棚田で米作りも行っています。この取組みにも、地域住民や学生から多くの協力を受けました。今年(平成25年)の秋には稲刈り、冬には餅つき大会を行います。

4 地域の主体性を活かし、様々な組織と協働することがポイント

クラブが行うこれらの取組みのポイントは、地域住民や大学生との「協働」です。クラブが地域を巻き込んで、突っ走ってきたわけではありません。地域住民や学生と何度も話し合い、じっくりと取組みの構想を固めてきました。地域のまちづくりの主役は、その地域に住む人々でなければなりませんし、そうでなければ持続的な活動にはなりません。また、さまざまな組織が協働して行うことで、クラブマネジャーにかかる負担も少なくて済みます。私たちのような規模の小さなクラブが活動を継続するためには、できるだけ負担を分散し、協力関係を作っていくことが重要だと考えます。

現在、地域との協働関係が機能しているのはイベント事業だけですが、日々のクラブ活動においても、もっと多くのボランティアに関わってもらうことが重要だと思っています。多くの地域住民が関わることで「私たちのスポーツクラブ」になるでしょうし、そこでの人と人とのつながりが、次のまちづくりにつながるはずです。

（クラブマネジャー　阿部香織）

クラブプロフィール

設立年月日：平成23年2月20日

地　　域：高知県香美市全域

運　　営：会員数…150名（平成25年8月15日現在）
予算規模…約980万円（平成24年度）

特　　徴：香美市民の健康づくりを主に担おうと努力している

連　絡　先：住所…高知県香美市土佐山田町平山459（ほっと平山内）
TEL…0887-53-4461
FAX…0887-53-7178
E-mail… club-coming@ivy.ne.jp
URL…http://blog.livedoor.jp/club_coming/

特　集

地域の町おこしに貢献しているクラブ

波佐見ルピナス倶楽部
～「ご当地ヒーロー」を結成～

キーポイント

○ご当地ヒーローを結成し、地域のイベントに参画
○イベントの活性化とクラブの認知度向上につながる
○できる限りコストをかけずに運営

1　クラブの設立経緯

「波佐見ルピナス倶楽部（以下、クラブ）」（長崎県波佐見町）は、平成23年8月1日に設立され「仲間づくり」「健康づくり」「生きがいづくり」を基本理念とし、波佐見町総合文化会館を拠点に、「健康エクササイズ」をはじめ20教室で活動しています。

クラブには「楽しくワクワクするようなクラブを創りたい」という熱意を持った有志が集まっています。

2　町おこしに貢献したご当地ヒーロー「はさみ炎レンジャー」

設立当初、クラブの運営スタッフには町議会議員、スポーツ推進委員、スポーツ少年団、少林寺拳法関係者などが入っていましたが、その中に現在クラブマネジャーである川口さんがいました。川口さんはクラブに関わる以前に「波佐見陶器まつり」を運営する波佐見焼振興会の職員でした。波佐見陶器まつりとは毎年ゴールデンウィーク（4月29日～5月5日）に開催される県下最大の焼き物の祭りです。クラブに川口さんが関わっていたことから、平成24年に波佐見焼振興会より「陶器まつりにクラブも協力してほしい」という相談を受けました。

クラブとしても地域の一大イベントである陶器まつりに携わりたいと考えた結果、ご当地ヒーロー「はさみ炎レンジャー」を結成しました。

結成の理由

○波佐見町にはご当地ヒーローがいなかった
○クラブが目指している「楽しくワクワクするようなクラブ創り」にかなう
○クラブ会員にもこの取組みに参画していただけた

クラブでは平成25年度の陶器まつりにおいて3日間、1日3回公演の「はさみ炎レンジャー」のヒーローショーを陶器まつり特設会場にて行いました。日頃のクラブ運営の合間に川口さんが台本を作り、アクションや立ち振る舞いの練習をしましたが、直前まで全員そろった練習ができなかったなど、苦労はたくさんあったようです。それでも「波佐見に来てよかった」と言ってもらえるようおもてなしの心構えを常に念頭に置いて活動した結果、観客が数百名を超えて大盛況でした。

ご当地ヒーロー「はさみ炎レンジャー」に係る経費

科　目	費　用	備　考
人　件　費	0 円	クラブスタッフや会員 (9 名)
交　通　費	4,500 円	500 円 /1 人 ×9 名
コスチューム代	24,000 円	1 着あたり 3,000 円 ×8 着
合　計	28,500 円	

※運営をボランティア、小道具を段ボールで手づくりするなど極力経費は抑えました。

3　祭りの活性化とクラブの認知度向上に貢献

クラブの取組みで良かった点は2点あると考えられます。
(1)町として力を入れている陶器まつりの活性化に貢献できたこと
(2)ヒーローショーというオリジナリティのある取組みによりクラブの認知度向上につながったこと
特に上記(2)については、一般的に総合型クラブでは、地域のイベントでスポーツ体験コーナーなどのブースを設置することが多いですが、今回のような取組みでは、例えばスポーツに関心のない方の目にも触れる機会となります。公演中に直接的なクラブの宣伝はありませんが、後々の問合わせなどからクラブの存在を知ってもらい、結果的に広くクラブを周知するきっかけになりました。
このヒーローショーがきっかけとなり、町のイベントなどにも出演要請があるそうです。

4　今後の展望

クラブでは、今後の活動に向けて4つのテーマを掲げています。
○「チームルピナス」宣言
クラブ全体を家族としてとらえ、家族全員で笑い、楽しみ、クラブに来ることがワクワクするようなクラブづくりを目指します。

○クラブハウスの充実

スタジオ、研修室だけでなく、憩いの場作りやサロン機能を完備したカフェづくりを目指します。

○クラブ内大運動会

クラブのユニフォームを着て、スポーツ教室、サークルという枠を超え楽しむことができる運動会の開催を目指します。

○魅力あるプログラムの提供・質の高い指導者とスタッフの育成

アンケート調査を実施し、設立当初の考えでもある会員がやりたい種目の充実、またスタッフも会員も共に考え、魅力あるプログラムの提供を目指します。

最後に川口さんからは「実現できる、できないは別として行動することが大事です！」と話していただきました。

（長崎県クラブアドバイザー　田原由美）

クラブプロフィール

設立年月日：平成23年8月1日

地　　域：長崎県東彼杵郡波佐見町（地場産業の波佐見焼が有名）

運　　営：会員数　221名
予算規模　1,100万円（平成25年度）

特　　徴：若い世代のスタッフが中心となり運営している

連　絡　先：〒859-3701長崎県東彼杵郡波佐見町折敷瀬郷1778-2
TEL/FAX：0956-59-8969
E-mail：a-lupine.hasami@titan.ocn.ne.jp
HP：http://blog.canpan.info/a-lupine/

波佐見ルピナス倶楽部　検索

JOTO クラブの取り組み

キーポイント

○メールマガジンで得た情報をもとに支援活動
○現地でのスポーツ指導とスポーツ用具の提供
○被災地の方が望むことを第一に考え、押し付けにならないよう配慮する

1 「JOTO クラブ」と「SUN 陸リアススポーツクラブ」の交流

実　施　日	平成 24 年 11 月 17 日 (土)・18 日 (日)
活 動 場 所	大船渡市三陸町綾里中学校体育館
支援対象者	綾里地区仮設住宅と近隣にお住まいの方
内　　容	クラブスタッフがファミリーテニス、ビーチボールバレー、スポーツ吹矢を指導
参　加　者	約 70 名 (2 日間)
運　　営	スタッフ 9 名
経　　費	28 万円 (旅費…277,500 円、ボール空気入れ…2,500 円) ※その他スポーツ用具は足立区・スポーツ吹矢協会からの寄付とクラブ所有のものを使用

2 メールマガジンがきっかけ!

きっかけは、公益財団法人日本体育協会が発行する総合型クラブ公式メールマガジンに「岩手県の仮設住宅入居者の運動不足を、スポーツでなんとかしてほしい」という内容が書かれていたのを「JOTOクラブ」(東京都足立区)ゼネラルマネジャーの三谷弘明さんが見つけたことでした。岩手県における総合型クラブの状況を知り「同じ総合型クラブとして役に立ちたい」と、被災地支援について運営委員会で話し合いました。

岩手県内クラブの自立につながることをしたいとの思いから、現地から被災された方を招いて交流事業を行う、クラブから寄付金を送るなど様々な案が出ました。その中から「被災地の方々と現地で一緒に何かできないか」という考えを採用し、岩手県クラブアドバイザーの伊藤さんに連絡を取って、支援要望があった「SUN陸リアススポーツクラブ」にスタッフが訪問してスポーツ指導を行うことになりました。

3 交流後にスポーツ用具を提供!

被災地との連絡、交通経路確認、宿泊手配をJOTOクラブのスタッフが行い、受入れ側クラブの負担とならないよう準備を進め、鉄道とレンタカーで現地を訪問しました。経費は一部JOTOクラブが支出しましたが、ほとんどはスタッフの個人負担で行いました。

会場は大船渡市三陸町綾里中学校体育館。同校の校庭には仮設住宅が建てられ、90世帯が生活していました。当日は仮設入居者の他近隣住民や小中学生ら、2日間で約70名が参加しました。

JOTOクラブスタッフは、誰でも簡単に楽しめるファミリーテニス、ビーチボールバレー、椅子に座ったままでもできるスポーツ吹矢を丁寧に指導しました。日本スポーツ吹矢協会公認指導員の横田博文さんは「子どもたちも夢中で、2日目はみんなムキになっていたほど」と手ごたえを感じていました。

また、この交流をきっかけに種目を継続していただくようにと、JOTOクラブからテニスラケット、日本スポーツ吹矢協会から吹矢４セット、足立区スポーツ振興課からはビーチボールなど、当日使用したスポーツ用具が支援物資としてSUN陸リアススポーツクラブに寄贈されました。

SUN陸リアススポーツクラブ熊谷会長は「用具をいただいたので、ファミリーテニス、ビーチボールバレー、スポーツ吹矢を普及していきたい。冬場の寒いときのゲームとして行いたい」と話していました。

4 継続した支援活動に向けて

JOTOクラブ出口会長は、「岩手県でいろいろ見てきて勉強になった。当クラブにとっても、これからの方向性が見えた気がする。足立区にとどまらず『スポーツは楽しい』ということを広めていきたい」とおっしゃっていました。また、JOTOクラブ三谷さんは、「被災地の方々を迎えてスポーツやコンサートを行ったり、被災地に文化事業を紹介するなど、今後も交流事業は続けていきたい」と支援活動の継続に向け意欲を示していました。

支援にあたっては、被災地の方が望むことを第一に考え、何よりも押し付けにならないよう配慮が大切です。被災地のクラブとはこまめに連絡を取り、訪問には、当日の天候や急な予定変更への対応が可能な無理のないスケジュールを組むことが必要です。

子どもから高齢者の方々まで、自分の好きなスポーツや文化活動を通して元気な生活を送ることができる環境を創る、そして失われた地域コミュニティを再生するために、総合型クラブはその一助を担う存在であると考えています。

（東京都クラブアドバイザー　小内清子）

クラブプロフィール

設立年月日： 平成20年2月24日

地　　域： 東京都足立区千住常東地域

運　　営： 会員数　70名（平成25年8月現在）
年間予算額　約180万円（平成25年度）

特　　徴： 地域の人々に活発なスポーツ活動、心豊かな文化活動,自主的な奉仕活動を通じて、人間形成と健康づくりを行い、出会い、ふれ合いのある魅力的な人づくり、街づくりを実現する。

連　絡　先： 〒120-0022 東京都足立区柳原2-49-1　足立区立千寿桜堤中学校内
TEL　080-5688-8932　　FAX　03-6427-8932
E-mail：senju-joto-kurabu@ezweb.ne.jp

※参考：日本体育協会公式メールマガジン連載「東日本大震災被災地応援情報」

岩手県の支援活動に関する記事

○被災地クラブの活動状況と復興へ向けて（前編）
http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H24/H24.5_iwate.pdf

○被災地クラブの活動状況と復興へ向けて（後編）
http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H24/H24.6_tohoku_aid.pdf

○岩手県陸前高田市に初の総合型地域スポーツクラブが誕生
http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H24/H24.12_tohoku_aid_iwate-folder.pdf

助成金情報

申込締切：11月30日まで

▶第12次「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業（赤い羽根共同募金）
[9月25日（水）当日必着]
http://www.akaihane.or.jp/er/p6.html

▶子どもたちの「こころを育む活動」募集（「こころを育む総合フォーラム」全国運動）
[9月30日（月）17：00締切※web申込]
http://www.kokoro-forum.jp/project_kokoro/

▶「きれいな川と暮らそう」基金（公益社団法人日本河川協会）
[11月30日（土）当日消印有効]
http://www.japanriver.or.jp/kireinakawa/index.htm

INDEXへ ▲

お知らせ

●総合型地域スポーツクラブ「キャッチコピー」本日締切！

総合型地域スポーツクラブ全国協議会（SC全国ネットワーク）が平成25年（2013年）度に設立5周年を迎えることから、その記念事業として、総合型地域スポーツクラブ「キャッチコピー」コンテストを実施しています。
本日が締切ですので、皆さまからのたくさんのご応募お待ちしております！！

応募資格：SC全国ネットワーク加入クラブ（含、設立準備中団体）
応募期間：平成25年5月1日（水）～9月20日（金） ※本日までの応募有効
▶ 詳細はこちらから
http://www.japan-sports.or.jp/local/news/tabid/84/Default.aspx?itemid=2693

●労力半分、効果は2倍！「クラブのらくらく広報」をご活用ください！

日本体育協会では、クラブが会員募集や認知度向上のために行う広報活動をより効果的に行うためのガイド「クラブのらくらく広報」を本会HP上に公開しています。
実際に活用いただいた方から好評の声をいただいております！
「クラブのらくらく広報」では、クラブが新聞社に対して行うニュースリリース（情報提供・取材依頼）の手法を掲載しています。
新聞社の目に留まりやすくなる見出し例も紹介していますので、ぜひご活用ください。

▶「クラブのらくらく広報」
http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/514/Default.aspx#05

●「スポーツ指導者のための倫理ガイドライン」を策定しました！

スポーツの意義や価値が改めて問われている昨今、日本体育協会では、スポーツ指導者の望ましい考え方や行動についてガイドラインを策定しました。
本ガイドラインでは「スポーツの価値」「プレーヤーズファースト」「フェアプレー」の視点から、安全で、正しく、楽しいスポーツ活動をサポートするためのプレーヤーと指導者の望ましい関係づくりについて解説しています。
また、暴力やハラスメントなどの反倫理的行為が起きる背景や影響、指導者としての注意点なども網羅しています。
総合型クラブの現場で活動されているスポーツ指導者をはじめ、運営スタッフやクラブ会員の保護者などスポーツに関わる皆さまに読んでいただき、本ガイドラインの趣旨を共有することで、スポーツ界から反倫理的行為を根絶するための一助となれば幸いです。

▶「スポーツ指導者のための倫理ガイドライン」
http://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid/677/Default.aspx#book06

●スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議（タスクフォース）報告書について

文部科学省では、スポーツ指導において暴力を行使する事案が明らかになったことを受け、「スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議（タスクフォース）」を設置し「新しい時代にふさわしいスポーツの指導法」のあり方について検討を行ってきました。
このたび、本タスクフォースの報告書がまとまり、公表されました。
我が国のスポーツ指導の場から今後、暴力が一掃されるよう、皆さまのご協力をお願いします。

▶ スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議（タスクフォース）報告書
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/sports/017/toushin/1337250.htm

●目指せ！100万人のフェアプレイ宣言！あくしゅ、あいさつ、ありがとう「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンにご協力をお願いします！

日本体育協会では、社会におけるスポーツの価値をより高めていくこと、スポーツ界を中心に「フェアプレイ」を社会全体に浸透させ、日本を元気にしていくことを目的に「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンを実施中です。
「フェアプレイ宣言」は本会専用WEBサイト上で行うことができます。

▶ この度、ラグビーチーム「サントリーサンゴリアス」の皆さまにフェアプレイ宣言いただきました！
http://www.japan-sports.or.jp/portals/0/data0/fair/people/index.html

「フェアプレイ宣言者」がまもなく20,000名になります。目標は2016年に100万人です！
まだまだ皆さんのご協力が欠かせません！
まだ「フェアプレイ宣言」をされていない方はぜひ専用WEBサイト上で「フェアプレイ宣言」をお願いします。
なお、フェアプレイ宣言を行っていただくと宣言書のダウンロードができ、各種画像データをご自身のブログなどでもご利用いただけます。ぜひご活用ください。
日本体育協会は、これからも「フェアプレイ」を広げるためにキャンペーン活動を続けてまいりますので、皆さんのご協力をお願いします。

▶ フェアプレイ宣言など、詳しくはこちらから
http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/fair/

●<開催都市決定御礼！>
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致活動へのご協力ありがとうございました！

2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が東京に決定しました！！
皆さま方からの長きにわたるご協力に感謝申し上げます。
これからの7年間、日本中に「オリンピズム」を浸透させ、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会を私たちの手で成功させましょう！

▶ 2020年オリンピック・パラリンピック東京招致の成功について（本会会長 張富士夫のコメント[本会HP]）
http://www.japan-sports.or.jp/index/news/tabid/92/Default.aspx?itemid=2696

▶ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致委員会
HPはこちらから
http://tokyo2020.jp/jp/index.php

【公式メールマガジン登録方法】

1）日本体育協会HPのトップページの中央にある「総合型地域スポーツクラブ」をクリック
2）下段の「メールマガジン」をクリック
3）「登録・退会」をクリック
4）「登録する」をクリック
5）登録フォームに、お持ちのメールアドレスを入力（2回）
6）登録確認画面へ（完了）

▶ メールマガジンの登録（無料）はこちらから簡単にできます。
周りの方にもぜひ登録をおススメください！
http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/516/Default.aspx

▶ メールマガジン配信停止（退会）ご希望の方は、こちらから
http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/515/Default.aspx

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度退会処理をされた後、
再度登録手続きを行ってください。

INDEXへ ▲

Copyright (c) Japan Sports Association. All rights reserved